

令和2年度長崎北高等学校 学校評価

1 学校評価アンケートで評価が高い項目（4, 3, 2, 1の4段階評価の平均が3.3以上）

	項目（数値）
生徒	北高は、朝の10分間読書の時間が十分に確保されている。（3.5）
	下校時間を守り、適切な時間に帰宅している。（3.5）
	周囲や相手のことを思いやって生活している。（3.4）
	北高は、生徒が自主的に学習できる教育環境を整えている。（3.4）
	北高は、生徒の病気や事故に適切に対応している。（3.3）
保護者	北高での生活は充実している。（3.3）
	学校行事や生徒会活動・部活動に積極的に参加している。（3.3）
	容儀・服装に注意し、あいさつがきちんとできている。（3.3）
	北高は、教育に必要な施設や設備が整っている。（3.3）
職員	子どもは、適切な時間に帰宅している。（3.4）
	子どもは、バスの中など校外でもマナーを守り、周囲に迷惑をかけないように行動している。（3.4）
	北高は、容儀・服装指導を適切に行っている。（3.3）
	北高で行っている朝の10分間読書は意義がある。（3.3）
	子どもは、学校生活が充実しているといっている。（3.3）

2 学校評価アンケートで評価が低い項目（4, 3, 2, 1の4段階評価の平均が2.8以下）

	項目（数値）
生徒	北高は、学習指導において、生徒一人ひとりの能力に応じた適切な学習指導を行っている。（2.8）
保護者	北高は、職業について、生徒に具体的に考えさせる指導をしている。（2.8）
職員	各分掌の内規の見直しが、先を見て適切に行われている。（2.8）

3 重点目標とアンケートの状況

(1) 安心・安全な教育環境の実現

- ① 施設及び組織のリスク管理を日常的に行う。
- ② 観察や面談による生徒理解に努め、教育相談委員会、特別支援教育推進委員会などにより組織的な対応と支援を行う。
- ③ 保護者との連携、相互理解を一層深め、生徒の成長をともに支える。

- 北高生活の充実に関しては、保護者・生徒いずれも3.3で良好な評価である。
- 「北高は病気や事故に適切に対応している」について生徒3.3、保護者3.2である。また、「生徒の疾病や事故に迅速・適切に対応している」についての職員の評価が3.6であることから、安心・安全な教育環境の実現に向けて学校として重要視している。
- 「北高は、保護者の意見によく対応している」という設問に対する保護者の評価は3.1である。今後も丁寧な対応を心がける。
- 生徒の不安や悩みへの対応に関しては、保護者、生徒いずれも3.0である。今後も学期ごとに実施する悩み調査のほかに、相談室だより等を通じて対応の窓口を周知するとともに、教員自身が相談されやすい雰囲気をつくるよう努める。

○いじめの早期発見や防止に向けた対応に関する評価は保護者。生徒ともに3.0である。今後も組織的に対応できる体制を維持するとともに、「学校いじめ防止基本方針」の保護者・生徒への周知を徹底する。

(2) 心豊かな人間力の育成

- ① 挨拶、マナー、端正な身なり等の自覚的な実践を通して、生徒が北高生としての品性と誇りを育むことができるよう支援する。
- ② 校内外の美化活動を通して、生徒が感謝の気持ちや公共心、公德心を育むことができるよう支援する。
- ③ 学校行事、生徒会活動、HR活動、部活動などに積極的に取り組ませ、生徒が協働性を育むことができるよう支援する。
- ④ 『道徳教育全体計画』に基づいた教育活動を展開し、生徒が人権意識を高め、自他共に思いやる心を育むことができるよう支援する。

○マナーや周囲への思いやりに関しては、保護者・生徒ともに3.4でいずれも良好な評価である。特にバス乗車マナーについては、機会をとらえて教員からも生徒会からもマナー向上を呼び掛けている。

○容儀・服装指導に関しては、保護者・生徒ともに3.3である。生徒の意識が高く、保護者も適切に指導されていると感じている。職員の共通理解のもとでの指導が奏功している。

○清掃活動の取組に対する生徒の評価は3.2で、保護者の評価も3.3であった。

○学校行事・生徒会活動・部活動への参加に関しては、保護者・生徒ともに3.3で良好な評価である。部活動の時間が確保されていること、学校行事において生徒が活躍できる場面が多いことが評価されたと考える。ただし、「生徒会活動が活発である」という設問に対する評価は保護者・生徒とも3.0であり、より多くの生徒が生徒会活動に積極的に関わる手立てが必要である。

○「北高は学習と部活動の両立をよく図らせている」に対する評価は保護者3.2、生徒3.0である。また、職員の「『両道頭揚』の実現を目指し、学業と部活動の両立を目指す活力ある生徒の育成によく努めている」の評価も3.2である。活力ある生徒の育成に向けた取り組みを今後も継続していく。

(3) 主体的・対話的で深い学びの実現

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、職員全体で授業改善を図る。
- ② 総合的な探究の時間を中心に教科横断的な学びを実現し、生徒が学力の三要素を有機的に発揮できる場を作る。
- ③ 朝の読書や図書館活用等を通して、生徒の学びの場を広げる。
- ④ 社会のリソースを活用し、生徒の学校での学びを社会での学びにつなげる。
- ⑤ 生徒の学びの履歴を整理し、活用することで、生徒一人ひとりの進路実現を図る。

○「北高は、保護者の意見によく対応している」という設問に対する保護者の評価は3.0である。今後も丁寧な対応を心がける。

- PTA活動の活発さに関しては、保護者の評価は3.1である。PTA新聞「つがのき」のアンケートや、PTA理事評議員会への参加にも積極的な協力を得られた。
- 生徒の不安や悩みへの対応に関しては、保護者・生徒いずれも2.9とやや低い。今後も学期ごとに実施する悩み調査のほかに、相談室だより等を通じて対応の窓口を周知するとともに、教員自身が相談されやすい雰囲気をつくるよう努める。
- いじめの早期発見や防止に向けた対応に関する評価は保護者の3.0、生徒2.8である。今後も、職員の研修を深めて組織的に対応できる体制をつくっておくとともに、「学校いじめ防止基本方針」の保護者・生徒への周知を徹底する。
- 広報活動に関しては、保護者3.2、生徒3.1で良好な評価である。引き続きホームページのブログ記事の更新を積極的に行っていく。

4 学校関係者からの意見・助言等

- 中学生への情報発信が適切にまた効果的に行われた結果、志願倍率の高さに結びついたと考える。北高が一丸となって取り組んでいる教育活動に対して、きちんと評価された結果であると思う。
- 「北高NEWS」で生徒や保護者に学校の方針や実情を伝えていくことは大変いいことだと思う。言葉だけでなく、活字として残すことがいいと思う。
- 各教室にオゾン機器を設置しており、感染予防に積極的に取り組んでおり感心した。
- 自治会内のバス停で北高交通委員会からのお知らせを見た。バスでの混雑緩和と高齢者への配慮など自治会回覧で周知したい。
- 学芸部演劇班の活躍など、少人数であっても生徒がやりたいことを実現できるサポートをしてくださることが、一人一人が大事にされていると感じられ、魅力ある学校となっているのではないかと思う。今後も一人一人が輝く北高を目指して欲しい。
- 面倒見がいい学校、一人一人の進路をしっかりと考えてくれる学校を目指して欲しい。コロナ禍の中、毎日の授業や部活動にもかなりの制約がかかっているが、今できることを頑張ってもらいたい。
- これからの生徒は探究心をもって自ら学ぶ姿勢を身につける必要があると思う。自分が好きなこと、興味関心があることを探究することの大切さを教えて欲しい。
- 学校体制や業務分担をしっかりと、目標や課題を先生方で共有しながら取り組んで欲しい。また、生徒が先生に質問しやすい環境作りに引き続き取り組むようお願いしたい。

5 学校側の取組

- 職員全体で足並みをそろえ、本校の校是である『両道頭揚』を実現するための取組をさらに進めていく。学習・進路指導の充実と部活動の活性化に取り組むとともに、「総合的な探究の時間」を中心に、生徒一人ひとりの能力に応じた適切な指導を心がけたい。
- 広く県民から評価される学校を目指し、地域・民間企業等との交流やPTAを始めとした関係団体との連携を一層強化していく。
- 学校広報は、北高の教育活動への理解を広げるだけでなく、生徒募集にも直結する大事な活動である。オープンスクールや学校説明会などの工夫、学校案内や北高NEWSの内容充実、学校HPの情報更新などに特に留意し、今後も「北高の魅力」の発信に努めたい。